

平成 19 年 5 月 18 日

各 位

兼松株式会社の売上高修正と弊社の石油取引について

本日、弊社の親会社である兼松株式会社は、同社連結決算において 2006 年 3 月期の下半期にまで遡り、弊社石油取引を見直した結果、公表済みの売上高につき修正を行うと発表しました。売上高が修正されました背景及び弊社の決算状況につきまして、以下の通りご説明申し上げます。

本年 4 月 16 日（月）に弊社石油取引に関する記事が地方新聞各社に取り上げられましたが、社内での調査の結果に基づきまして「実際には商品を動かさず伝票だけで売買する『循環』取引は行っておらず、具体的取引・証憑書類に基づく正常な取引をしている。また平成 19 年 3 月期の決算では黒字を確保できる。」との見解を弊社ホームページを通して説明させて頂きました。

その後弊社監査法人より、多額の回収遅延が生じた主要な石油関連取引先に関し、「売上計上の実在性に関する監査手続が実施不能と見込まれるので、意見表明のための合理的な基礎を得ることが出来ない」旨の意向が伝えられました。そのため兼松株式会社の協力を仰ぎ、当該石油取引を詳細に調査しました結果、業者間転売取引をベースとして、特定企業先へ売りと買いの決済条件におけるサイト差を利用した金融支援的な取引の蓋然性が高いとの判断により、当該取引分を売上高から除外した決算を行う事としました。また、将来起こり得るリスク要因を慎重に見直し、引当金の積み増しを行う等、保守的に対応することと致しました結果、赤字決算となる見通しです。株主様はじめお取引先様に多大なるご迷惑をおかけいたす事となり深くお詫び申し上げます。

今後、内部統制システムにおけるリスク管理体制を更に強化し、信頼される企業となるように努めますので、引き続きご支援の程お願い申し上げます。
まずは取り急ぎご説明方々ご理解の程お願い申し上げます。

以 上